

問：臨時・非常勤職員の経験や勤務実態を加味した賃金に？

答：今後の人材確保のためにも実施に向けて検討したい。

問：臨時・非常勤職員の登録数と

日々の執務人数は？

答：本年11月30日現在で、臨時

職員登録数は183人。月に複

数日勤務している職員は臨時職

員が99人、非常勤嘱託員が2

1人、合計120人になる。

問：臨時（日々雇用）職員取扱い要

綱の見直しをする考えは？

答：日々雇用職員の採用に当たっ

ては、条例改正を含めて早めに

対応して行きたい。

問：臨時・非常勤職員の経験や勤務

実態を加味して、賃金に反映さ

せるべきでは？

答：現在、非常勤嘱託員のうち保健

師については、雇用する際のそ

れまでの勤務経験等を考慮して

給料額を決定している。今後、人

材確保の観点も含めて実施に向

けて検討をしたい。

問：平成32年度に会計年度任用

職員制度に移行するが？  
答：研究を行い、準備を進める。

総務文教常任委員会審査報告

ふるさと応援寄附への返礼品割合40%から52%へ

○ふるさと応援寄附金の今年度の推移は？

前年度と比較して8月・9月は落ち込ん

だが、返礼品の一部見直しを行い10月・

11月は増加した。

○返礼率が大きくなった原因は？

他自治体が返礼率の見直しを行い、基山

町も一部の返礼品について同様の見直し

をせざるを得なかった。結果的に、返礼品

に充てる割合が昨年度の40%から5

2%にならざるを得なかった。

○総務省から返礼率を3割以内にするよう

に要請があつているが、問題ないのか？

当初予算の基金積立をおこなうためには

苦渋の選択をした。

議会からの提案

ふるさと応援寄附は重要な財源ではある

が、見直しを行う際は事前に議会に報告

をすること。

○企業版ふるさと納税寄附金の状況は？

町外に本社を置く7社から380万円

の寄附の申し込みがあり確定した。

○来年度以降も企業版ふるさと応援寄附

制度を利用するのか？

継続しておこなう基山（きざん）草スキ

ー再生プロジェクトには利用し、新たな

事業があれば活用したい。

議会からの提案

来年度以降も積極的に活用すること。

補正後のふるさと応援寄附の状況  
歳入 寄付金合計 8億円  
歳出

返礼品	4億2000万円
積立基金	3億527万円
委託料	5252万円
賃金・その他	2221万円
合計	8億円

8億円に対する返礼品の割合52%